

「新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン(案)」に対する パブリックコメント手続きの実施結果について

「新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン(案)」について、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

いただいたご意見に対する市の考え方をまとめましたので、結果を公表します。

なお、ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約し掲載させていただきましたので、ご了承ください。

■意見募集期間

令和4年12月21日(水曜)～令和5年1月19日(木曜)

■結果公表日

令和5年2月28日(火曜)

■広報した手段

- ・市報にいがた、市ホームページに掲載
- ・市政情報室、都市政策部(担当課)、各区役所、各出張所、中央図書館(ほんぽーと)にて資料配布

■ご意見の提出状況、案の修正

- ・意見提出者数：3名(提出方法：郵送0、FAX0、電子メール2、窓口へ持参1)
- ・意見数：30件
- ・案の修正：3件

■結果公表場所

結果は次の場所で閲覧できます。(閉庁日、休館日は除きます)

- ・市政情報室(市役所本館 1階)
- ・都市政策部(市役所ふるまち庁舎 5階)
- ・各区役所(資料の設置場所は各区地域課・地域総務課へお問い合わせください)
- ・各出張所
- ・中央図書館(ほんぽーと)

■問い合わせ先

新潟市 都市政策部(市役所ふるまち庁舎 5階)

〒951-8554 新潟市中央区古町通7番町1010番地(古町ルフル5階)

電話：025-226-2711 FAX：025-229-5150

E-mail：niigata2km@city.niigata.lg.jp

「新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン（案）」に対する パブリックコメントに寄せられたご意見及び市の考え方

No.	頁	種類	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
1	18 ～ 19	Ⅲ将来ビジョン実現のための方針 方針1 歩行者空間づくり 方針2 基盤づくり	旧新潟駅前通と東大通における社会実験の事後評価はどうなったのか。公表済か。	旧新潟駅前通と東大通の社会実験では、歩行者へのアンケート調査や滞在行動の把握などを行いました。それぞれの取り組みの成果などを検証し、市ホームページに掲載する予定としております。また、こうした実験の検証結果を、新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンの具現化に活かしていきたいと考えています。	無
2	19	Ⅲ将来ビジョン実現のための方針 方針2 基盤づくり	P19の「まちなかの交通環境を整える」という項目ですが、長期的な視野を持ち、新潟駅から白山駅を結ぶLRTの導入を検討するのが良いと思います。路線バスは最も利用のハードルが高い交通システムであり、新潟大学の学生であってもバスを利用するのは少数派という感覚があります。そのため、P14からP16のコラムの描写にあった、多くの市民や観光客がバスでまちなかに出かけることはやや想像しにくいビジョンです。他都市の状況を見ても賑わいと活気のある中心市街地は軌道系公共交通が普及しており、高い利便性を実現できています。LRTは車線を削減する必要がありますが、東大通は将来的にクルマをなるべく入れない空間を目指していることから、市の方針にも適していると考えられます。なお新潟島の区間は車線も少ないため、地下化や高架化といった手段を用い、走行空間を確保する必要があると思われます。費用は間違いなく高額であり、新潟市の厳しい状況を考えると容易ではないでしょうが、将来の新潟市の発展を考えれば妥当なものであるように感じます。実際に宇都宮市のLRTは開業前ながら、既に地価の上昇や沿線の開発が進むといった効果もみられ、宇都宮市の発展に大きく寄与する可能性を感じさせます。宇都宮市など他の地方都市の動きを注視しつつ、新潟市も大胆なビジョンを描いていく必要があるように思います。	本市では、平成23年度に「新たな交通システム導入基本方針」を策定しており、BRTのほか、LRT、小型モノレールについて検討を行い、導入シナリオにおいて早期にBRTを導入することとしています。また、同基本方針において、「将来的なLRTへの移行の判断について、新潟駅高架下交通広場の供用の目途がつく頃に社会環境を十分に考慮し行います。」としています。 しかしながら、現在の社会環境は、生活様式の変化などにより、公共交通にとって厳しい状況であると考えています。このため、今後も社会環境の変化を捉えて、判断していく必要があると考えています。 いただいたご意見については、「方針2 基盤づくり」の「まちなかの交通環境を整える」を具現化していくうえでの参考意見とさせていただきます。	無

No.	頁	種類	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
3	20	Ⅲ将来ビジョン実現のための方針 方針3 安心・安全な環境づくり	(省エネルギー 再生可能エネルギー) ・ビルの新・改築にあたり、想定されている市の補助金を拠出する場合は、一定条件(太陽光、緑化等の整備)を付すべきです。 ・市の条例化が望ましい。	再開発に関する補助金制度では、全国的に採用されているCASBEE(建築環境総合性能評価システム)のAランク認証を義務付けており、省エネや再エネの活用を促進しています。 ご意見いただいた「省エネルギー、再生可能エネルギー」を促進する事業など、将来ビジョンの「方針3 安心・安全な環境づくり」に寄与するものについては、補助率の加算や建築制限の緩和等の各種支援制度を通じて開発を促進しています。	無
4	21	Ⅲ将来ビジョン実現のための方針 方針4 魅力づくり	(土地利用) 空店舗等の利活用にあたり助成金を拠出する対象を、その地域のめざす商店街にマッチしたものに限定すべきです。古町エリアを教訓に。	いただいたご意見については、「方針4 魅力づくり」の「空き店舗等の有効活用など、ストリートの特徴や将来の姿に応じた土地利用を誘導」を具現化していくうえでの参考とさせていただきます。	無
5	21	Ⅲ将来ビジョン実現のための方針 方針4 魅力づくり	(歴史文化) 旧新潟駅前歴史的な資源とは何を示すのか。	旧新潟駅は、1904年に当時の信濃川沿い(現在の弁天公園付近)に開業し、1958年に現在地に移転しました。(P5「Ⅰ都市の成り立ち」に参照) 現在の弁天公園付近から流作場五差路までの旧新潟駅前通は、幅員が広く、駅前であった面影が残っており、また初代、2代目の萬代橋の橋詰があったという歴史性を有しています。 なお、将来ビジョンでは、特色ある10ストリートの1つとして、こうした歴史性も踏まえて旧新潟駅前通の将来の姿を描いていますので、P21の「旧新潟駅」の記載を、「旧新潟駅前通」に修正します。	有

No.	頁	種類	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
6	23	Ⅲ 将来ビジョン実現のための方針 コラム	(交通環境の見直しについて) 万代島ルートが完成すると交通量が増す。東港線の拡充、整備が必要です。	東港線の拡充、整備については、将来的な周辺全体の交通環境の変化を見据え、検討していく予定です。 いただいたご意見については、関係部署と共有するとともに、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	無
7	23	Ⅲ 将来ビジョン実現のための方針 コラム	(交通環境の見直しについて) 将来的な東大通、明石通、万代島ルート、東港線の交通量の推移を示すべきです。	コラムについては、「人中心のウォークラブルな空間づくり」の考え方を記載したものであり、ご意見につきましては、今後の取り組みにおいての参考とさせていただきます。	無
8	26 ～ 35	Ⅳ ストリートごとのウォークラブルな将来の姿	イラストイメージについて、将来ビジョンの方針をもとにイラストによるイメージを掲載したと思うが、他の資料を引用したり、注意書きで「あくまでも参考イメージです」と断っているが、では、実際に目指すべき形はどうなるのか。現実的な方向を示したイメージを掲載し、それに向かって取り組んでいくべきです。 ※イラストによるイメージは説得力がある。	各ストリートの将来の姿や、方向性をイメージしやすくするため、イラストや、画像を掲載しています。 今後、ストリートごとの取り組みを具体化していく中で、より詳細なものをお示していきます。	無
9	26	Ⅳ ストリートごとのウォークラブルな将来の姿 ① 弁天ゲートストリート	・ 歩行者専用道路にしても不便はないし、路上の利活用が出来る。タクシー利用などは周辺で充分可。 ・ 荷下ろしの貨物車は利用時間帯を設ける。古町のように。	いただいたご意見については、弁天ゲートストリートの将来の姿として記載した「賑わいが連続してあふれるエリア」の趣旨につながると考えますので、今後の取り組みへの参考とさせていただきます、案のとおりとします。	無

No.	頁	種類	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
10	27	Ⅳストリートごとのウォークラブルな将来の姿 ②旧新潟駅前通	社会実験では、中心樹木帯の片側だけであったと思うが、イメージとソゴがありすぎる。事後評価はどうなったのか。	社会実験は、実施予算の範囲内でより効果的な実験とするため、地元関係者の方々や関係機関と協議しながら、検証テーマと実験内容等を設定して行ってきました。令和4年度の取組の成果については、検証結果を市ホームページに掲載する予定としております。	無
11	27	Ⅳストリートごとのウォークラブルな将来の姿 ②旧新潟駅前通	イラストのイメージを前提に再度社会実験をすべきです。	参考イメージとして掲載したイラストを地元関係者の方々とも共有し、社会実験や意見交換を重ねていきたいと考えています。	無
12	30	Ⅳストリートごとのウォークラブルな将来の姿 ⑤東大通ストリート	・東大通とは新潟駅～流作場五差路の間であるが、歩道の空間創出はこの区間を想定しているのか。(社会実験では、新潟駅～明石通までの150mであったが)ビジョンに記載すべきです。 ・この場合、明石通～流作場五差路の間をどうするのか。	「⑤東大通ストリート」の区間は、タイトル表題下に記載した、「・東大通(新潟駅～流作場五差路)・新潟駅万代口周辺(新万代広場)」です。ご意見の「明石通から流作場五差路」もあわせて取り組んでいきます。	無
13	30	Ⅳストリートごとのウォークラブルな将来の姿 ⑤東大通ストリート	「参考イメージ」とはいえ、現行片側4車線を3車線へ、さらに将来的には1車線化をめざすようだが、この間、交通量がどう推移すると予測しているのか示す必要がある。	ご意見いただいた「交通量の推移」については、国など関係機関と課題を共有するとともに、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無
14	30	Ⅳストリートごとのウォークラブルな将来の姿 ⑤東大通ストリート	(空間創出の社会実験について) ・片側4車線を3車線化にし、その分、歩道を拡張して空間創出する予定であったが、実態は現行歩道(7m幅)を2分割しただけで実験を行った。反対側歩道では10mだけ3車線化。 ・結果として歩行者の通行が密になり、空間利用者は7～8名程度(土日)であったのが実情です。 ・当初予定した内容(にいがた2kmや市長説明)とは違った形での実施は社会実験とはいえないのではないか。 ・社会実験の事後評価(総括)はどうなったのか。公表済か。	社会実験は、実施予算の範囲内でより効果的な実験とするため、地元関係者の方々や関係機関と協議しながら、検証テーマと実験内容等を設定して行ってきました。令和4年度の取組の成果については、検証結果を市ホームページに掲載する予定としております。	無

No.	頁	種類	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
15	30	Ⅳストリートごとのウォークラブルな将来の姿 ⑤東大通ストリート	歩道での空間創出には最低限2車線分の拡張が必要です。	イラストは参考イメージであり、車線数も含め、将来的にどのように空間を創出してくかは今後の検討となります。いただいたご意見については、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無
16	30	Ⅳストリートごとのウォークラブルな将来の姿 ⑤東大通ストリート	駅高架下へバス発着場が移設すると、人の流れが変わる。この段階で再度社会実験を行うべきです。	ご意見いただいた新潟駅周辺整備事業の進捗を踏まえた社会実験の実施については、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	無
17	30	Ⅳストリートごとのウォークラブルな将来の姿 ⑤東大通ストリート	イラストのイメージからすると、BRTバス専用走行路はないと理解して良いか。市長は3月の協定書改定時に結論を出すと言っている。	イラストは、あくまで参考イメージです。BRTバス専用走行路について結論づけをしたものではありません。ストリートの将来をイメージしていただけるよう案のとおり掲載します。	無
18	30	Ⅳストリートごとのウォークラブルな将来の姿 ⑤東大通ストリート周辺エリアとの「つながり」	東大通の段階的な再編が必要とは、どういうイメージを示すのか記載すべきである。	新潟駅周辺整備事業や万代島ルート線、新潟駅西線等の進捗による交通環境の変化を的確に捉えながら、順次、取り組めることから進めていきたいと考えており、イラストで参考イメージをお示しています。	無

No.	頁	種類	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
19	37	V 将来ビジョンの実現に向けて 2 将来ビジョンの実現に向けたまちづくり推進プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・目標年次を 20 年後とあるが、短・中・長期ごとの年数を示すべきです。 ・全てが長期扱いになっているが、ビジョンの項目によっては、目標を短中期に細分化できるのではないか。実施計画策定まで無理か。 	将来ビジョンの具現化に向けては、毎年度、効果的な施策を検討し、実施していく必要があると考えています。今後、検討の進捗に合わせて、具体的な目標年次などをお示ししていきます。	無
20	37	V 将来ビジョンの実現に向けて 2 将来ビジョンの実現に向けたまちづくり推進プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・事後評価のあり方を記載すべきです。 ・一定期間ごとに取組状況の評価を行うべきです。 ・評価は身内ではなく、外部者によるべきです。身内では甘くなる。 	将来ビジョンは、これからのまちづくりの方向性を示したものであり、今後、エリア内の個別事業が計画化された段階で、それぞれ目標の設定や事後評価を行っていく必要があると考えます。また、総事業費が大きいものや国の交付金を活用するものは、新潟市大規模建設事業評価監視委員会(第三者機関)を通じて評価を行っていきます。	無
21	-	その他	ヨコ文字が多すぎないか。市民向けの文書としてはいかがなものか。 ※行政は日本語を大事にすべきです。	ご意見を踏まえ、横文字表記の意味や用語の解説集を掲載いたします。	有
22	-	その他	用語の解説集が必要です。		有
23	-	その他	実施計画策定の段階で、改めて市民意見を求めるべきです。現段階では詳細不明。	将来ビジョンは、これからのまちづくりの方向性を示すものであり、今後、エリア内の個別事業が計画化される際、必要に応じて市民意見を求めていきます。	無
24	-	その他	財源はどうするのか、考え方を示してほしい。中央区に集中していることへの批判もある。	将来ビジョンの具現化に向けて、エリア内の個別事業を計画化する際に、財源確保についても検討し、お示ししていきます。	無

No.	頁	種類	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
25	－	その他	結果（にいがた2 kmも含め）を他区へ波及させていくというが、具体的な中味が示されていない。説明が必要です。	将来ビジョンでは、多様な人々が交流し、新たなイノベーションが創出され、エリアの魅力や価値が高まる好循環を生む「人中心のまち」を目指しています。そうした都心の成長エネルギーを市全体へ波及させていくことで、新たなビジネスの創出や交流人口の拡大など、様々な好影響を及ぼしていきたいと考えており、P11 のイメージ図を掲載しています。	無
26	－	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成には、初期の段階から市民の理解が必要と思う。実施計画の段階で市民説明会などを開き、市民と共有していく努力が必要です。 ・「にいがた2 km」という言葉は知っているが、内容が判らないとの市民意見を払拭していく必要があります。 	将来ビジョンは、これからのまちづくりの方向性を示すものであり、今後、エリア内の個別事業が計画化される際、必要に応じて市民意見募集や地元説明会などを行ってまいります。ご意見いただきましたように、今後も市民の皆様から理解をいただけるよう積極的な周知活動を行ってまいります。	無
27	－	その他	<p>ビジョンの必要性が認められない。 （理由） 無理にビジョン化しているが、『「にいがた2 km」の覚醒』で当該地区活性化の必要は述べられている。具体の実施計画も『覚醒』で記述されている。</p>	新潟駅周辺、万代、万代島、古町をつなぐ都心軸周辺エリアの「にいがた2 km」では、それぞれの地区の特徴を活かしたまちづくりを官民連携で展開するため、2019年3月に「万代島地区将来ビジョン」を策定し、2020年3月に「古町地区将来ビジョン」を策定しており、それらに続き「新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン」を策定するものです。本市としては、当エリアに関わる人達と将来の姿を共有しながら、まちづくりを進めていくために必要なものと考えています。	無

No.	頁	種類	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
28	－	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン化の必要はないが、『覚醒』とは別途、「弁天ルート」「花園ルート」については、何らかの計画は持つべきと考える。しかし、それはビジョンで位置付ける必要はない。 ・『2核・水辺・3モール』で無理に位置付けることは、この路線の個性を失わせることになりかねない。「モール」との文言は使うべきでない。 	<p>ご意見いただいた「弁天ルート」、「花園ルート」は、都心軸の副軸として、交通、商業の核となる新潟駅周辺と万代地区、そして豊かな水辺空間を有機的につなげる重要なストリートです。将来ビジョンでは、都心軸とこの両副軸を「3モール」として、しっかりと位置づけ、ストリートの個性を生かした将来の姿を、市民の皆様、関係者の皆様と共有しながら、まちづくりに取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また今後、ストリートごとの具体的な内容が定まりましたら、個別の事業計画を検討していきたいと考えています。</p>	無
29	－	その他	『2核・水辺・3モール』について、「にいがた2 km」の品性を落とす文言だらけで、全く品性が感じられない。無理に言葉を作る必要はない。	<p>将来ビジョンの策定にあたっては、令和3年度から、「(仮称)新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン懇談会」を開催し、エリアの関係団体や商店街、有識者、関係機関の皆様と議論を重ねてきました。この懇談会において、市民の皆様へ将来ビジョンの趣旨をわかりやすくお伝えしていくため、『～新潟駅・万代地区周辺を新たな魅力・価値が創造される「人中心のまちへ」～つながる「2核・水辺・3モール」～』というキャッチコピーを決定しました。今後も、将来ビジョンを市民の皆様からご理解いただけるよう、機会を捉えて周知していきます。</p>	無

No.	頁	種類	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方	修正
30	-	その他	<p>(全体の文言について)</p> <p>「にいがた」らしい情緒を感じられない。新潟市総合計画など練れた計画に比し、言葉使いがラフ過ぎる。パブリックコメントに付すなら、最低限、都市政策部の文書主任のチェックが必要と考えます。</p>	<p>将来ビジョンの内容や文言については、令和3年度から、「(仮称)新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン懇談会」を開催し、エリアの関係団体や商店街、有識者、関係機関の皆様と議論を重ねてきました。幅広い年代の方から読んでいただきたく、平易な文章で構成しました。都市政策部の文書主任も確認しておりますので、案のとおりとします。</p>	無